

「校種に応じた薬物乱用防止の授業づくり講座」

1 はじめに

教科教育チーム保健体育科では、今年度、小・中・高等学校の校種にまたがって2講座を開設しました。6月29日の体育講座（戦術学習を重視した球技指導講座）では、筑波大学の松元剛先生を講師に招いて、実技を中心とした「球技指導の授業づくり」について学びました。また、10月23日から2日間の日程で実施した保健講座（校種に応じた薬物乱用防止の授業づくり講座）では、お茶の水女子大学附属中学校の山梨八重子先生を招いて、「保健授業の具体的な実践例」を紹介していただくなど、研修者が学校に戻ってすぐに生かせるものをたくさん学びました。

保健体育科では、今後も校種の違う先生方の交流を通じて、日ごろ抱えている問題点や課題点を共有するところから授業づくりを考えていきます。

2 講座内容

(1) 1日目

- 開講式・オリエンテーション
- 協議「教科指導上の課題について」
- 講義・演習「授業構想について」
- 講義・演習「魅力ある保健の授業づくり」
お茶の水女子大学附属中学校 山梨八重子先生



(2) 2日目

- 協議・演習「校種別学習指導案作成」
- 演習「模擬授業」
- 協議「模擬授業から学ぶこと」
- 閉講式

3 研修者の感想

- ・ 子どもを引きつけ、夢中にさせる発問や学びの切り口が見え、勉強になりました。保健学習だけでなく、保健指導にも通じる、現場にすぐに生かせる内容でした。
- ・ 講義の中で「薬物の使用は個人の自由か？」という問いに対する生徒の様々な反応に、どう切り返すのかが思い浮かばず悩みました。日々の授業を通して、勉強を重ねていくべきであると感じました。
- ・ 年間の指導計画をしっかりと把握していきたい。生きた保健指導の例はとても参考になった。
- ・ もっとお話を聞きたい興味深い講座でした。見えないものが見える形にしていく、体験させる。そんな学びの過程がある授業で、子どもの前に立てたらすばらしいことだと思います。目の前の子どもの実態から、教材を開発していくこと、発問を吟味していくことなど、授業づくりの深さに改めて気づかせていただきました。
- ・ 薬物乱用防止についての実践だけでなく、小学校でも活用できるものをたくさん見せていただきました。本校でも、今日からマラソンが始まりました。かわいいハート（心臓）を作って46人の子どもたちの前でミニミニ保健指導を試みたいと思います。何かが変わることを期待してやってみます。
- ・ 先生方と相談して、様々なアイデアや可能性をアドバイスしていただいた。自分では自信がなくあいまいにしていた内容もよりよい方向性を見いだすことができた。学校ではなかなか時間がなく、このような内容を検討したり協議したり、大変有意義だった。